

令和元年度 習志野市総合防災訓練

◇日時：令和元年9月8日(日)午前9時～ ※終了時間は会場により異なる

◇会場：公立小・中学校、高等学校体育館（26箇所） **雨天決行**

今年度の訓練の特徴は、各会場で訓練項目及び時間配分を決められることであります。
発災直後の初動から、避難所の運営体験、会場ごとの個別課目訓練までの一連の訓練項目について、各会場で重点的に行いたい項目により多くの時間を費やすことにより、地域の実情に即した訓練を実施します。

市民の皆様が主役となる訓練ですので、是非ご参加ください。

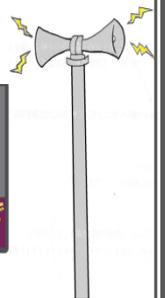
《訓練の流れ》 ※訓練項目及び開始時間は一例になります。

市民防災力向上訓練

●市民初動訓練（9:00～）

・シェイクアウト

9時00分の防災行政無線や緊急メールを合図に身を守る行動をとる。
「身をかがめる」→「頭を保護する」→「そのまま1分間じっとする」
3つの安全行動を行ってください。
(この一連の動きを「シェイクアウト」といいます。)



・火災の予防措置

揺れから身の安全の確保ができれば、次に大切なことは自分の家から火災を出さないことです。
ガスの元栓を閉めたり、ブレーカーを落とす動作の確認を行いましょう。

・安否確認

次に、隣近所で安否確認を行いましょう。自主防災組織や町会で安否確認の方法を決めている場合は、それに従って訓練しましよう。1軒1軒回る方法、安否確認カードを軒先に掲示する方法、近くの公園や空き地に集まって点呼を取る方法などがあります。
(今回の訓練では限られた時間で出来る範囲で実施してください。)

●避難所運営訓練



実際の災害では、自宅が無事であれば避難所に避難する必要はありませんが、本訓練では、自宅が倒壊したものと仮定して訓練に参加してください。

避難所では、まず受付を済ませ体育館内に移動します。その後、避難所生活を行ううえでの基本の単位となる、20人程度の「生活グループ」の編成を行います。



また、避難所は基本的に住民により運営されることになるため、避難所のリーダーである「避難所運営委員長」の指示で避難所運営委員会会議を開催します。



※裏面にも記載があります。

●個別課目訓練

各会場で異なる個別課目訓練を実施します。

個別課目訓練では、関係機関や市職員の協力のもと、災害時に役立つ、自助力・共助力の強化に繋がる訓練を実施します。

どなたでも参加できる内容となっておりますので、是非とも御参加ください。



『個別課目訓練の一例』

応急給水訓練	初期消火訓練	救急救命訓練	応急手当訓練
炊出し訓練	防災資機材使用訓練	感震ブレーカー紹介	土のう作製訓練
ペット対応訓練	煙体験訓練	ドローンを活用した災害時情報収集	外国人対応訓練

●訓練終了（～12:00）

12時の防災行政無線の放送を合図に、参加者による意見交換会や資機材等の後片付けを行い、アンケートを記入しましたら、訓練が終了となります。

《その他》

- ・震度4以上の地震が発生、または気象警報が発表された場合は中止となります。
- ・今回の訓練では、東部体育館の避難所の開設は行いません。
- ・水筒を持参するなど、暑さ対策は各自でお願いします。
- ・訓練当日は、お近くの避難所にご参加ください。（市では地区ごとに避難所の指定は行いません。町会等で予め避難先を決めている場合には、その方針に従ってください。）



皆様お誘いあわせの上、ぜひご参加ください



【問合せ】習志野市総務部危機管理課 災害対策係
TEL047-453-9211 FAX047-453-9386